

第12回 全日本学生ドイツ語弁論大会

実施要項

記

- 日 時： 2011年(平成23年) 12月3日(土) 午後1時00分より
- 場 所： 京都外国語大学 171教室
- 主 催： 京都外国語大学
- 後 援： 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、オーストリア大使館、ゲーテ・インスティトゥート大阪、在日ドイツ商工会議所、毎日新聞社、京都日独協会、DAAD(ドイツ学術交流会)
- 協 賛： ルフトハンザ ドイツ航空、(株)三修社、マンハイム大学、ドレーズデン工科大学、チューリヒ大学、ザルツブルク大学
- 出場資格： 大学・短期大学在籍者(大学院生を除く)で、以下のいずれかに該当しない者。
 - 1) ドイツ語を母語とする者
 - 2) ドイツ語で授業を行う教育機関(小、中、高等学校)に1年以上通った者、もしくはドイツ語圏での在住が1年を越える者

★第三者による証明書の提出を求めることもある。
- 演 題： 自由(但し、本人によって作成された未発表のものに限る)
- 制限時間： 5分間
- 申込締切： **2011年10月24日(月) 必着** (メールによる申込が望ましい。 郵送も可)
 - * 氏名(漢字とローマ字)、年齢、住所、緊急連絡先(携帯電話、メールアドレス)、所属大学名・学部・学科・学年、演題(日本語とドイツ語)を明記し、弁論要旨(日本語1,000字以内<後日、プログラムの作成時に使用する>)を提出すること。(メール文に直接記載、Word 文書等の添付いずれも可)
 - * 応募者が多数の場合は、ドイツ語の原稿審査(11月中旬頃)により出場者の人数を一校あたり上限3名とする。
- 選考方法： 演説の内容、表現力、発音、暗記力(大会当日はプロンプターをつけるが、暗記を前提とする)等により、弁論の結果を総合して入賞者を決定する。なお、弁論直後に、二次審査として審査員との簡単な質疑応答を行う。
- 審査員(予定)： 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館(2名)、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川(1名)、ゲーテ・インスティトゥート大阪(1名)、DAAD(ドイツ学術交流会)(1名)
- 賞 品(予定)： ヨーロッパ往復航空券(協力: ルフトハンザ ドイツ航空)、語学研修(ゲーテ・インスティトゥート)、図書券など
- 交 通 費： 近畿地方2府4県(大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県)を除く遠方からの出場者には、現金で全額支給される。ただし、交通機関の領収書(チケットのコピー可)が確認できない場合は、如何なる理由であろうと支給は行わない。

お申し込み/お問い合わせ先

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6
京都外国語大学ドイツ語学科
(郵送の場合は「弁論大会応募書類在中」と朱書きして下さい)
E-mail: doitsu-benron@kufs.ac.jp
TEL: (075) 322-6157・6155 (大会実行委員: 菅野・筒井)

